

近畿学校保健学会通信

№ 28

昭和50年5月30日
第22回近畿学校保健学会事務局
(〒640) 和歌山市真砂町1の1
和歌山大学教育学部
保健体育学教室
TEL (0734) 22-6101
振替口座番号 大阪 314972

第22回近畿学校保健学会開催要項

関係者お誘いあわせのうえ、奮ってご参加下さいますよう、ご案内いたします。

第22回近畿学校保健学会

会長 武田 真太郎
副会長 小出 陽造
事務局長 笠松 勇次

1. 日時 昭和50年7月10日(木) 9:30-16:30

2. 会場 県民文化会館小ホール
和歌山市小松原通1の1 TEL (0734) 36-1331

3. 日程

9:30 10:00 12:20 13:20 13:50 14:00 16:30

受付	一般口演	評議員会	総会		シンポジウム 「精神の健康をめぐる」
----	------	------	----	--	-----------------------

4. 一般口演

(1) 大学生の体格の推移

○ 中 俊博・吉田 泰子(和大教育)

(2) 精神薄弱児童生徒の体格体力についての調査

○ 斎藤 真一・長谷川 等(大阪学校保健研究会)

(3) 肥満児の選定方法に関する一考察

松岡 弘(大教大保健)

(4) 肥満児対策の評価

高島 雅行(京都市学校医会)

(5) 防衛体力の環境医学的研究——異常刺激時の体内血流動態について——

森脇 俊明・木村 静雄(立命大)

(6) 尿の界面エマルジョン法に関する研究

○白石 竜生・上林 久雄(大教大保健)、川島 明子(大阪府青少年センター)

(7) 和歌山県竜神村学童の尿たんぱく検査結果について(第一報)

○飯尾 和巳(御坊保健所南部支所)、狭間 清学(高野口保健所)、山本 康夫(田辺保健所)、
木下 徹(御坊保健所)、丸山 栄一(古座保健所)、岡本 亨(和歌山県衛研)、
中野 実(御坊保健所)、寒川 真雄・古山 量朗・佐々木 裕雄(和歌山県衛生部)

- (8) 運動時の体育館の空気の衛生学的消浄について
○米田幸雄・河島四郎・宮田英子（京教大）
- (9) プール入水時の血圧の変動
野田康夫・御前富子（保田中）
- (10) 計画献立による嗜好調査——学校給食をすすめるために(1)——
○布上五月・及川純子・松村啓子・西村英雄・野村富美雄（西宮市教委）
塚本利之（兵庫医大・公衆衛生）・武田真太郎（和歌山医大・衛生）・
佐守信男（神戸大・教育衛生）
- (11) 組織・運営についての研究——学校保健を進めるために(1)——
○大森良剛・大西道子・今出悦子・野村富美雄（西宮市教委）
塚本利之（兵庫医大・公衆衛生）・武田真太郎（和歌山医大・衛生）
佐守信男（神戸大・教育衛生）
- (12) 保健室における医薬品のあたえかた
和田寿子（伏虎中）
- (13) 精神衛生について
松本喜三代（伊都高）

※ 発表時間は8分、質疑応答は2分の予定です。

5. シンポジウム

	司会	和歌山県立医科大学教授	武田真太郎
教育学の立場から	京都大学教授	蜂屋慶	
心理学の立場から	姫路工業大学教授	上田吉一	
衛生学の立場から	神戸大学教授	佐守信男	
医学の立場から	和歌山県立五稜病院精神科医長 和歌山県立医科大学助手	朝井忠	
システム工学の立場から	毎日新聞社学識経験者特別嘱託 大阪商業大学教授	古田昭作	

6. 会費 一般会員 1,000円
評議員 1,500円

7. 参加申込み方法

学会当日にも会場に参加申込みの受け付けを行ないますが、なるべく、申込書により、会費をそえて、6月30日までに、お申込み下さい。会費前納の方には「抄録集」を事前にお送りします。

〒640 和歌山市真砂町1の1
申込み先 和歌山大学教育学部保健体育学教室気付
第22回近畿学校保健学会事務局

申 込 み 書

氏名	
所属機関名	
連絡先	
宛名氏名	殿

（下段の宛名、氏名は「抄録集」の郵送に直接使用しますから明瞭にご記入願います。）

第22回近畿学校保健学会追加幹事

川崎武彦（県学校歯科医会） 川口英雄（市学校歯科医会）

シンポジウム演者の紹介

第22回近畿学校保健学会事務局

さきの「学会通信」№27でお知らせしたとおり、第22回近畿学校保健学会ではシンポジウムのテーマに〈精神の健康〉を取り上げることになりましたが、教育学・心理学・衛生学・医学・社会学のそれぞれの立場からの話題提供していただく演者の方々が決定いたしましたので演者の略歴と主な業績を御紹介いたします。

蜂屋 茂

はちや・けい、大正9年生れ

京都大学教授 黎

現住所 茨木市桑田町18ノ1

昭和16年京都大学文学部哲学科卒、大阪市立大学講師、助教授を経て、昭和38年同大学教授となる。昭和47年奈良女子大学教授を経て、昭和50年京都大学教授となり、教育学部にて教育学講座を担当。主な著書として「子どもらが道徳を創る」（昭和32年、黎明書房）、「少年・人間のための教育、2」（昭和48年、日本出版放送協会）、「学級集団理解の方法」及び「学級集団理解の実践」（編著、昭和49年、明治図書）がある。

上田 吉一

うえだ・よしかず、大正14年生れ

姫路工業大学教授、教育学博士

現住所 茨木市大字福井1011

昭和27年京都大学文学部哲学科卒、昭和28年より姫路工業大学助手、講師、助教授を経て、昭和45年同大学教授、心理学を担当。主な著書として「健康教育と道徳教育」（昭和34年、刀江書院）、「精神的に健康なる人間」（昭和39年、川島書店）、マスロー著「人間性の最高価値」（訳、昭和48年、誠信書房）があり、研究論文としては「精神的に健康な人格の特性に関する考察」（教育心理学研究、5（3））がある。

佐守 信男

さもり・のぶお、大正5年生れ

神戸大学教授、医学博士

現住所 西宮市甲陽園西山町8-37

大阪大学医学部卒、同大学講師（医学部衛生学教室）を経て、昭和33年神戸大学教授となり教育学部にて保健科担当。昭和34年より同大学の教育学部必修の教職専門科目として教育衛生学を開講し、その間、神戸大学教育学部附属幼稚園長・附属明石小、中学校長を歴任。日本学校保健学会評議員および幹事、日本衛生学会評議員。主な編著書として「測定法を中心としての学校環境衛生」（昭

和37年、開隆堂)、「これからの幼児教育を探る」(昭和49年、ひかりのくに)。主な著書として「人間の歴史的・自然・教育衛生学序説」(昭和40年、六月社)、「幸福への賭け—科学的教育論」(昭和44年、創元社)、「愛と創造のデッサン—幼稚園教育と教育」(昭和47年、学研)がある。

朝井 忠

あさい・ただし、昭和14年生れ

和歌山県立五稜病院医長、兼和歌山県立医科大学助手

現住所 和歌山市内原977-8

昭和42年和歌山県立医科大学卒、昭和45年同大学神経精神科助手となり、昭和48年より和歌山県立五稜病院を兼務し現在に至る。精神病理学および社会精神医学専攻。主な研究論文として「精神薄弱児の視覚性誘発電位について」(臨床脳波、14(9)、1972)、「精神分裂病者によるグループワークの試み」(和歌山医学、23(4)、1972)、「行動療法による神経症性頻尿の治療例」(和歌山医学、23(4)、1972)がある。

古田 昭作

ふるた・しょうさく、昭和2年生まれ

毎日新聞社学識経験者特別嘱託、大阪商業大学教授、工学博士

現住所 名張市桜ヶ丘3088

大阪商大経済卒業後、大阪大学大学院工学研究科原子核工学専攻研究生、米国コロンビア大学マスター・オブ・サイエンスジャーナリズムに留学。その後、13年間毎日新聞大阪本社学芸部科学記者を勤め、昭和45年より毎日新聞学識経験者特別嘱託となる。その間、関西大学非常勤講師および韓国慶熙大学工学部学術教授を兼ね、昭和50年大阪商業大学教授となり社会—産業—システム—工学担当。研究の中心課題は、「成長の限界説と安定化対策論の見地からみた公害・環境・資源に関するシステム工学的研究」。主な著書としては、体育に強くなる(毎日新聞社)、現代産業工学—システム工学から未来工学まで—(科学情報社)、公害・環境・資源(科学情報社)、人類社会の再建—過去・現在・未来—その人類史的科学的分析と新提言(訳、科学情報社)などがある。

会場案内

